1 竹刀について

- (1) 長さ男女共通3尺7寸（114センチメートル）以内
重さ	男子440グラム以上	女子400グラム以上
先端部の太さ	男子25ミリメートル以上	女子24ミリメートル以上
ちくとうの太さ	男子20ミリメートル以上	女子19ミリメートル以上
- ※ちくとうの計測方法は、先端から8センチメートル
- (2) 竹刀先革の長さは、50ミリメートル以上とする。
- (3) 中結の位置は、剣先から全長の約4分の1とする。

2 つばについて

- (1) つばについては、革色のもの（白色も可）を使用する。それ以外のものを使用している場合は、その場で、つばあるいは竹刀全部を取り替えさせる。ただし、竹刀は検査に合格したものでなければならない。
- (2) つばの大きさは直径9センチメートル以下とし、竹刀に固定する。

3 柄革について

- (1) 柄革は、滑り止め（ゴム等）や模様等のない無地のもので、白色とする。ただし、日常の稽古や練習試合での使用については、その限りではない。
- (2) 柄革の上端（折り返し部分）は、模様のない白とする。異常に大きいものや太いものは使用しないこと。（栃木県中体連剣道専門部申し合わせ事項）

4 弦について

- (1) 弦の色は白色または黄色のものが望ましい。（栃木県中体連剣道専門部申し合わせ事項）
- (2) 必要以上に緩みがないようにしておく。

5 本大会での検量項目について

- (1) ささくれや割れ等の破損がないか。
- (2) 長さは適正か。
- (3) 重さは適正か。
- (4) 剣先の太さは適正か。
- (5) 柄に模様（滑り止め）はないか。また、柄革の上端（折り返し部分）は白色で、異常に大きかったり太かったりしないか。
- (6) 中結いの位置及び長さは適正で、緩みはないか。
- (7) 弦は白色または黄色で、必要以上に緩くはないか。

6 検量合格竹刀について

- (1) 検量を合格した竹刀については、検量所でシールを鏢もと付近に貼る。
- (2) 検量後にシールが剥がれた場合は、競技運営部員が再度検量し、シールを貼る。
- (3) 試合中にシールが剥がれた場合には、その試合は継続し、試合終了後に競技運営部員が対応する。

7 検量所及び検量時間について

- (1) 検量所は、両日とも2F剣道場に設ける。
- (2) 時間について

- 1日目（10月18日） … 女子個人出場選手8：20～9：30
男子団体出場選手開会式終了後～10：50
- 2日目（10月19日） … 男子個人出場選手8：20～9：30
女子団体出場選手9：00～10：30

※時間内に検量ができなかった場合には、監督または引率者が競技運営部長に申し出ること。
※配慮すべき理由があった場合には、検量を実施する。

8 その他

- (1) 各学校で、事前に検量項目について生徒の竹刀を確認しておいてください。
- (2) 時間内に検量が終了できるよう、生徒への事前の連絡をお願いします。
- (3) 検量を不合格となった竹刀について、生徒が試合で使用することのないようご指導ください。